



新しい年を迎えて

学校法人 二松学舎
理事長 佐藤 保

父母会の皆さま、明けましておめでとうございます。

ふだんは皆さま方にお会いする機会がなかなかございませんが、皆さま方から日頃いただいたお礼、皆さまの教育・研究支援のための種々のご尽力に対して、あらためてこの場を借りて深く感謝申し上げます。

さてご存知のように、今年には本学にとりまして創立一三〇周年に当たる記念すべき年です。創立記念日の一〇月一〇日に中洲記念講堂で記念式典が開かれるのを、

はじめとして、平成十九年度を通じていろいろな記念行事や祝賀の催し物が予定されています。法人、大学ともすでにそれらの準備に取りかかっています。

しかしながら、大学をとりまく社会状況は、本学のおめでたい気分には水をさすような厳しさがあります。

それは、言わずもがなの、ますます深化する少子高齢化の問題です。昨年大きく報道されましたのは、十八歳人口の急激な減少により、ついに私立大学の約四割が定員割れを生じたという衝撃的なニュースでした。私にも前から学生募集の厳しさの実感はありましたが、まさかそれほどとは思っていませんでした。幸いにも本学はこれまで、教職員、本

学卒業生など、関係者の懸命の努力により、定員確保は維持しておりますが、状況は決して楽観や予断を許しません。なにしろ今年から、各大学が必死で受験生を奪い合う「大学全入時代」が始まるからです。

このような状況に対処するために、これをやれば確実、十分という特効薬的な方策があるわけではありません。教育・研究の場である大学は、さまざまな工夫と改革の努力をつみ重ね、大学の特色をより鮮明にして、

審査が行われました。二つの評価は、大学基準協会のそれは学校教育法に基づき義務的なものでしたが、R&Iは本学が自主的に受けたものです。

Iは本学が自主的に受けたものです。いずれも、本学の教育・研究の内容や水準、本学の特色、経営の基盤などが第三者の眼にどう映っているのかを知る絶好の機会でした。すなわち、今回の評価を受けた目的の第一は、第三者からの客観的且つ具体的な指摘を今後の改革に生かして行くこと、第二は、評価の内容を公表

審査が行われました。二つの評価は、大学基準協会のそれは学校教育法に基づき義務的なものでしたが、R&Iは本学が自主的に受けたものです。いずれも、本学の教育・研究の内容や水準、本学の特色、経営の基盤などが第三者の眼にどう映っているのかを知る絶好の機会でした。すなわち、今回の評価を受けた目的の第一は、第三者からの客観的且つ具体的な指摘を今後の改革に生かして行くこと、第二は、評価の内容を公表



創立一三〇周年の初めに

二松学舎大学
学長 今西 幹一

父母会員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

旧年は新校舎へ移って三年目、学士課程の前期段階(一、二年)を柏校舎で、後期段階(三、四年)を九段校舎で分け持つ教育体制が漸次整い、軌道に乗って来た一年でした。柏で基礎教養、専門教養を養い、九段において専門の課程を学習する。そのステップが明確になったかと思えます。また上級生にとつて、至便の地九段で就職活動をする上で有利に働いたかと思えます。

昨年(相互)の教育研究の活動、成果を学外に積極的に発信し、二松の存在を少しでも周知せしめるべく挑んだ年でもありました。大学基準協会を通して第三者(相互)の評価を受け、大学の経営診断として格付けを受け、またCOEの中間評価も得ました。また最終の評価を得ていないものもありますが、いずれも好結果を得ております。また、高

に学術の発信を展開しております。景気の回復、いわゆる団塊の世代の第一線からの後退という社会構造の変革を要因として、本学の表看板である教職を含め、卒業生の進路に曙光が見え始めております。実際に各道府県の教員採用の合格者も例年に数倍し、企業等への就職率も向上しています。団塊の世代は、十八歳人口の減少を補う大学・大学院入試の格好の「漁場」として、いわゆるシニア対策として各大学から狙われ

りを見せ始めたものと評価したいと思います。大学も小学校教員・司書の資格取得の道を拓いた他、今後ともキャリアアップに努めます。ただ他人任せでなく、お子さんたち一人一人が自主的に卒業後の進路に取り組み、そしてその前に社会の構成員としての責任を自覚して欲しいと願っています。父母の方もお力添えいただきたいと思えます。

卒業生の進路につきましては好転の兆しが見えますが、十八歳の



大学通信

創立一三〇周年

記念事業について

二松学舎は、本年十月十日(水)、創立一三〇周年という記念すべき佳節を迎えます。

記念事業として、記念式典・記念講演会をはじめ、次のような行事が予定されております。

○記念式典
日時 平成十九年十月十日(水) 十時

会場 九段校舎 中洲記念講堂
○記念講演会
日時 平成十九年十月十日(水)

会場 九段校舎 中洲記念講堂
講師 藤原 正彦氏
(お茶の水女子大学教授)

○祝賀会
日時 平成十九年十月十日(水) 十三時

会場 未定
○記念出版
①中洲詩(全三巻のうち第一巻を刊行)

②二松学舎小史(新書版)
○創立一三〇周年記念学術事業

①一三〇周年記念大学論集の発行
②漢詩コンクール

- 高校生、大学生を対象とした漢詩コンクールの開催
- ③ 論語シンポジウム
- ④ 記念書道展「三島中洲と書家」
- ⑤ 二松学舎学術講座の開催
- ⑥ 一三〇周年記念「狂言」公演(国立能楽堂)
- ⑦ その他

第一回漢詩コンクール 盛大に挙行される

二松学舎創立一三〇周年記念事業の一環として、平成十八年九月に実施された第一回漢詩コンクールには、全国各地から多数の応募があった。高校生の部で作詩部門七十二件、鑑賞部門に四十六件、大学生の部では、作詩部門に三十九件、計百五十七件の応募があった。

審査の結果、最優秀賞、優秀賞が次のとおり決定した。

表彰式は十一月三日、九段校舎で行われた。

◇高校生の部
【作詩部門】
最優秀賞 栃木県立栃木商業高等学校二年 慶野 慧豊
優秀賞 二名

【鑑賞部門】
最優秀賞 京都府立嵯峨野高等学校一年 宮崎 滯

◇優秀賞 二名
◇大学生の部
【作詩部門】
最優秀賞 二松学舎大学一年 早川 太基
優秀賞 二名

◇団体奨励賞
京都府立嵯峨野高等学校
福井県立三国高等学校

学生の課外活動報告

◇剣道部、全国大会で優勝
個人の部 林 元君優勝

平成十八年十月二十二日(日)、綾瀬の東京武道館で開催された「第四十回全国学生剣道優勝大会」において、本学剣道部が展開競技の部で優勝した。

予選会で、決勝に進める上位四チーム中二位で通過し、決勝戦では、出場チーム中最高得点を出し、輝かしい優勝を手中に収めることができた。さらに、同日開催の男子個人実戦競技では、国際政治経済学部四年次生の林元君が活躍、四十八人のトーナメント戦を勝ち抜き、見事に優勝した。

又、十月二十九日(日)、千駄ヶ谷の東京体育館で開催された「第四十回全日本剣道選手権大会」において、

東京城西地区代表として出場し、予選を首位で通過した。当日は、連戦の疲れも見せず、展開競技の部で最高得点を打ち出し、優勝した。おめでとう。

剣道部、全国大会に出場

本学剣道部が、「第五十五回関東学生剣道優勝大会」の団体戦において、二回戦まで勝ち進み、全日本学生剣道優勝大会出場枠である上位二十二校内に入り、全日本学生剣道優勝大会への出場権を獲得した。

そして十月二十九日(日)、大阪府立体育館において「第五十四回全日本学生剣道優勝大会」が開催された。対戦校は愛知学院大学。善戦むなしく二対四で敗退した。今後の健闘を祈る。

木村友香さん、団体に出場

十月三日から開催された第六十一回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」のセーリング競技成年女子セーリングスピリッツ級に、茨城県代表として本学文学部中国文学科一年次生の木村友香さんが出場した。

矢野結子さん、書道展大賞

八月二十二日から開催された「第十一回全日本高校大学生書道展」で、本学文学部中国文学科二年次生の矢野結子さんが「かなの部」で書道展大賞を受賞した。

平成十八年度

地区別父母懇談会

アンケート結果

平成十八年七月八日(土)・十五日(土)に九段校舎・柏校舎で開催された父母懇談会でのアンケート集約結果の一部が前号「編集後記」にも記載されており、その詳細をここに掲載いたします。

■「講演会」についてお答えください。
次回講演を行う場合、どのような内容を希望されますか？

【九段校舎】
◇就職状況のお話は年々変わりますので、来年も是非お話ししたいと思えます。

◇就職に関して、具体的に一人の学生の一年とかを例にとりてやっていただきたいです。

◇現役の経営者にお話ししたい。◇若い世代の価値観について。◇本日と同じ就職について。

◇就職関係の講演希望。◇企業の方のお話が聴きたいです。

◇目的を持たず大学に入っている学生もいると思いますので、「大学は何をするところか」を希望します。

◇一人っ子的な大学生の就職活動についての情報がゼロの状態でしたので、とても参考になりました。

【柏校舎】
◇就職におけるエントリーシートのことなど、とても意義あるものだったので、やはりこのような関係のものをお願いします。

◇勉強になりました。
◇大学全入時代の今、将来を見据えた大学の有意義な過ごし方は、教職員等に関する講演をお願いします。

◇薬物関係等の話。
◇二松学舎においての取得できる資格や専門分野の詳しい話を聞いてみたい。

◇コミュニケーション能力のつけ方又はUPするには、

◇子供はまだ一年生ですが、企業が求める人材や就職に関する事について、

◇スケジュールや面接内容など、もう少し具体的な話も聞きたい。

◇学生生活の応援と就職にむけての支援、最近の経済状況。

■「懇談会」についてお答えください。
懇談会全体について、お気づきの点がありましたら、ご記入ください。

【九段校舎】
◇時間を感じずもつとじつくりやつて欲しい。渡辺先生の話しはとても良く感じました。

◇キャリアセンターの説明の時間ももつと多いと良かった。

◇大学の特色、意気込みがよく感じられた。息子も今よりもつと意欲的な人間になって、社会に出て行けるのではと希望を持ちました。

◇普段、親が見ることができない面など、教えていただけました。

◇学習状況、就職状況などとても詳しく説明してくださって、今後の就職活動にも参考になりました。

◇参加してよかったです。野村文学部長先生とキャリアセンターの方のお話には感銘を受けました。

◇野村文学部長の美しい日本語、耳に心地よい声で久しぶりに日本語の素晴らしさを感じました。二松学舎大学の生徒たちが社会に出てコミュニケーションの基である日

本語をしっかりと学んで各分野で頑張って頂きたいと思えます。

◇クローラーがすこし効きすぎていたように感じました。

◇子供がキャリアセンターの先生にいろいろ相談に乗っていただきました。「本当にいい先生方だったよ」と言っていました。ゼミの先生も楽しく勉強できたし、二松学舎大学に入ってよかったと言っていました。

◇それぞれのご専門の立場からわかりやすく説明くださり、また、司会進行の方の声もはっきりとしていて、聞き取りやすかったです。今後ますます大学経営、運営にご健闘いただきたいと思えます。

【柏校舎】
◇わかりやすい説明でよかったです。ただ一つ声がよく後ろまで届かない点がありましたので、それが残念でした。

◇学部ごとに細かいところの話が聞けました。二松学舎大学がとてと近いものと感じられ、又各先生方の熱意を感じるようになりました。

◇娘も我々親も、二松学舎大学で良かったと思える四年間を是非過ごしたいと思えます。いろいろありがとうございました。

◇大学にいくこともあまりないし、大学の先生方の、これからの大学の熱意を感じました。ありがとうございました。

◇柏でしていただけたので、参加できました。やはりお便りだけで読むのと違い、実際に職員先生方のお話を伺い、安心できました。講演会と合わせてお聴きし、無駄なあせりはなくなりました。就職へ

の道筋も理解できました。

◇大学の中心の方々が、じかに説明して下さる、本説明会はよろしいです。今後も続けて下さい。なるべく卒業出来るような仕組みをお願いいたします。

◇学校のことがわかり易く説明いただけました。

◇話が聞きやすい、内容がわかり易い。講演は午前中によつてほしい。個人面談は終了後でよいのではな

いか。

◇キャリアセンターの内容や就職状況について詳細を知りたい。

◇就職の問題は、いずれの親子にとつても、また大学にとつても重要な問題であります。学生たちには、もつと象牙の塔(人生を考え、深い思想を養う)としての深みを過ごさせたいと思えます。

■「学食体験」についてお答えください。
量をもう少し多めにしてほしい。また内容が肉系の濃い物ばかりで、単品のおかずもメニューにいられてあげて下さい。

◇メニューが少ない。カップ麺、カップスープなどのお湯を、自由に利用できるようにしてほしい。

【回答】(大学より)
学生の食生活については、一般的に朝食抜きが多いとの指摘もあり、柏校舎一号館は定食を主体に、そして二号館の食堂は種類など軽食のメニューとなつております。又、カップ麺、カップスープ用のお湯は、両校舎とも地下一階学食に用意されており、自由にご利用できます。

●皆様、ご協力ありがとうございました。



7F 父母会コーナー



中庭模擬店



中庭模擬店

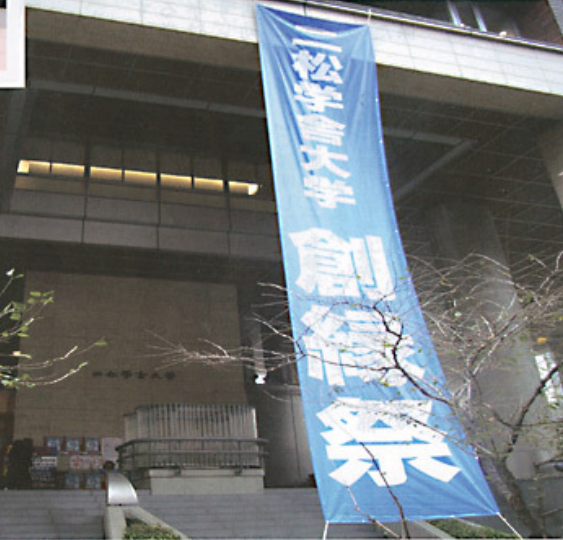
創縁

もっと盛り上げられたのではないのかという思いがあります。実現することができなかつた企画、二松学舎大学の特色をもっと出したかったなど、全ての目標を達成できたわけではないのです。実行委員や大学の方々の中には悔しい思いをした人も沢山いると思います。今年の反省を活かし、来年の創縁祭は今年以上に盛り上げられたらと思います。そのためにも、挑戦し続けることが大切だと思います。みんなが、もっともっと夢中になれる空間が創れたら最高だと思います。

最後になりましたが、創縁祭実施にあたり御協力いただきました父母会を始め、多くのご協力を頂き、本当にありがとうございました。



受付



祭

学園祭実行委員長 浅野 誠

まず始めに、今回も無事に創縁祭を終了することができて、ほっとしています。これも、父母会、教員、学生を始め多くの方の御協力を頂いたからこそこうして創縁祭を振り返ることが出来るのだと思います。本当にありがとうございました。

しかし、私が感じたことの一つに、

創縁祭ー全員集合ーを終わって



学園祭実行委員



準備(柏校舎)

交換留学生の声

平成十八年度交換留学生として中国の喬芳さんと韓国の柳雪姫さんに日本の大学生活について綴ってもらいました。

「障害者の顔」

北京大学 喬 芳



今年九月二十一日に日本に来てから、私が最も印象深くと感じたのは障害者の顔だ。私がこのようにいうのは、障害者の顔が見たところ、正常な人と違うためではなく、逆に障害者の顔の大多数が正常な人と同じように穏やかなためなのだ。

飯田橋から九段校舎への途中、時々立派な身なりをした目の不自由な男性が杖をついて無事に通行しているのを見かける。また、ある日私がエレベーターを降りる時、両足でまっすぐに立つことのできない人が、微笑んで私に「開」ボタンを押してドアを開けてくれたことがあった。彼の顔がすべて落ち着いていて、穏やかなこと、私はそれに感動した。

日本に着いたばかりのころ、日本の人口のわりに障害者が多いと思っただ。時間が経つにつれて、日本が障害者の外出と就職のためにいろいろ便利な環境をつくり、障害者が普通の

「皆さん ありがとう」

成均館大学校 柳雪姫



私は二〇〇六年から日本での留学生生活をはじめ、今年でも九月になり、振り返ってみると、今更のように、いろんなことがあったな」と思い出します。私は高校のときから日本語を始め、日本に来る前も日本人の友達が多くありませんでした。それで、少し、日本への留学を安易に考えていたかもしれ

ません。しかし、現実それはほど甘くはありませんでした。私のために、ゆっくり話してくれた韓国での日本人の友達とは違って、日本人の普通の会話の速さについていくのが大変でした。それで、学部の授業が入っている日は学校に行くこと自体がプレッシャーになったこともあり、うまく通じないし、自分の発表のときは頭の中ではわかっていても、日本語の表現力が足りなくて質問に

つきり答えられないこともあり、本当に悔しかったのですが、だれかに八つ当たりをすることもできませんでした。なぜなら、それは自分で頑張るしかないことだからです。それで、秋セメになって、その同じ授業で教授から、しっかり答えてくれるわねと褒められた時はほんとうに嬉しかったです。もちろん、自分の日本語はまだまだで、これからもっと頑張らなきゃ!と思います。とりあえず、一段階をパスした感じでした。

そして、私が日本で得たのは日本語だけではなく、一生付き合いたい友達もたくさんできました。いい人々に出会って、最初、大変だった留学生生活を頑張ってやり続けることができたと思います。友達は台湾人、タイ人、中国人など、いろんな国籍を持っていて、韓国人同士で話すときにはコミュニケーションがうまくとれませんが、だからこそ相手のことはより耳を傾けて、話をしています。

私は日本に留学しましたが、ここで教わったことは日本についてだけではありません。国をこえた、人と人が出会うことの嬉しさと楽しさも学びました。日本での留学生生活は短かったですが、自分の国の中には絶対に分らなかつたと思われ、たくさんの経験をさせてくれました。最後にここで、私が留学できるように応援してくれた人々、そして日本でいろいろ私の面倒をみてくれた人々にも感謝の気持ちを伝えたいと思います。

学生相談室 だより 55

光 奥野 カウンセラー

先日、日本で生活している北欧出身の女性と話をしていたら、日本人は何でも包装しすぎて環境に悪い、という話題になりました。日本は豊かな国なのだから、やろうと思えば何でもできるはずなのに残念だ、と言うのです。私はその意見に同感するものの、自分がいざ物をあげるとなると、それなりにきれいに包みたい、

現れてきます。似たもの同士だと思っている友達さえ、そう決めつけないでつきあってみると、実はいろいろな違いがあることに気づかされるものです。大学時代は、自分らしさを確立していく時期だと言われています。それは様々な人や社会と自分が結びつくところでの経験を通して実現していきます。「同じ」という安心感や心地よさに浸かりすぎず、「違い」にも開かれてみてはどうでしょうか。その経験は、自分らしさを発見し、卒業後にはさらに多様な人々の集まりである社会で生きていく学生の皆さんたちの人生に様々な貢献をするのではないのでしょうか。

父母会報第五十五号が皆様の手元に届く頃には、三年生に対する企業の採用活動は、本格的にスタートしております。本学でも、三年生全体への支援として、学内業界セミナー(十二月十八日)・学内企業研究会(十二月二十日)を実施いたしました。昨年同様三〇〇名を超える三年生が参加しました。企業研究・応募筆記・面接試験を経て内定するのが、早い人で四月初旬、全体的には、五月初旬、連休明けから六月初旬となります。これからの長丁場、健康に留意して希望の内定目指して頑張ってください。当然のことながら、キャリアセンターは春期休業中も開室して就職支援を行っておりますので、いつでも相談するよう、お子さんにお伝え下さい。なお、学内業界セミナーと企業研究会に参加していない三年生がおりましたらキャリアセンターにて就職の相談をするように併せてご指導願います。次に、教員・公務員について説明いたします。

キャリアセンター だより 6

教員や公務員になるには、各々の採用試験に合格せねばなりません。合格するためには、早くから十分な時間をかけて準備(受験勉強)をする必要があります。本学では教員希望者支援として、一年次の春休み(二月初旬)に「春期合格講座」をスタートして二年春セメ・夏期休業・秋セメ・春期というように、四年になる直前まで実施します。公務員希望者に対しては、二年次の春休み(二月初旬)に「春期公務員合格講座」をスタートして教員合格講座と同様に実施いたします。どちらの講座も費用は有料ですが、講師負担ですが、教員或いは公務員になるためには、この講座の受講は不可欠と言えます。両講座については、十二月に学内でガイダンスを実施しておりますので、詳しい内容はお子さんにお聞き下さるかキャリアセンターまでお問い合わせ下さい。ご父母のご理解とご支援をお願いいたします。

教員の海外教育研究活動

平成十八年度中にかかる本学教員の海外での教育研究活動を掲載する。

21世紀COEプログラム
「日本文学研究の世界的拠点の構築」2006年国際学術シンポジウム

平成十六年七月、二松学舎大学21世紀COEプログラム「日本文学研究の世界的拠点の構築」が文部科学省に採択されたことに伴い、その研究活動の一環として、平成十八年九月十六日(土)・十七日(日)、中国でシンポジウムが行われた。

日時 九月十六日(土) 十七日(日)
会場 中国・華北飯店

内容
第一日目(九月十六日)
開幕式 九時

挨拶 浙江工商大学 学長 胡祖光

二松学舎大学 学長 今西幹一

基調講演
講演 コロタイプロードの忠治郎

「羅振玉董康傳増補」の協力者として

二松学舎大学大学院 教授 佐藤進

《矢羽ゼミナール》

私達の所属する「矢羽ゼミナール」は近世(江戸時代)の俳諧について学んでいます。江戸時代に活躍した俳人の伝記や俳句などを割当て、調べたものをレジュメを用いて担当者が発表します。

私達「清水ゼミ」では、行政法について行政法学に於いての知識、考え方、解釈、適用の仕方等を過去の判例や判決文に就いて触れながら、行政行為(行政庁が国民に対して優越的な地位に立つて一方的に行なう行為の事)にはどのようなものがあるか、又、その行為が持つ効力についての問題、国家賠償法(国民が行政活動によって受けた損失・損害を国・地方公共団体がお金を払って救済する法律)

ゼミ探訪

皆様も御存じのことと思いますが、芭蕉の俳句に「古池や蛙飛び込む水の音」があります。こういった俳句の季語や成立年代、句意などを調べ夏まわっていきます。

物事を明確にすることで理解を深めていきます。出来る限り自分で調べ、分からない所や足りない所は先生が分かりやすく説明や補足をしていくので、自分では気付かなかった事、分からなかった所を知り、知識の向上をはかることが出来るのです。



二松学舎大学COE海外拠点リーダー会議(本学COE関係者十六名、海外拠点リーダー八名)★昨年度のCOE海外拠点リーダー会議は平成十七年九月五日(月)に本学九段校舎にて開催。

学院小川教授が出席された。小川教授は、同会議の第一回目から出席されている。また、六月十七日(土)から十九日(月)の間、韓国・清州大学で開催された「2006年度夏季国際学術会議」に出席、発表された。

平成十八年九月八日(金)から十一日(月)の間、中国・北京で開催の「中日高速経済像長期的媒体表現学術検討会」に本学文学部瀧田専任講師が学術振興会の共同研究者として参加された。

鑑真僧団とブックロード
浙江工商大学 日本文化研究所 所長 王 勇
分科会
玉篇と篆隸萬象名義 二松学舎大学大学院 教授 白藤 禮幸
曲直瀬義安院家と朝鮮本医書 二松学舎大学 東アジア学術総合研究所 専任講師 町 泉寿郎

日中シンポジウム参加
文学部専任講師 瀧田 浩
平成十八年九月八日(金)から十一日(月)の間、中国・北京で開催の「中日高速経済像長期的媒体表現学術検討会」に本学文学部瀧田専任講師が学術振興会の共同研究者として参加された。

第十五回アジア競技大会審判員
国際政治経済学部教授 金子 茂
平成十八年十二月一日(金)から十五日(金)までカタール国ドーハで開催された「第十五回アジア競技大会」のカバディ競技の帯同審判員として本学国際政治経済学部金子教授が参加された。

ジュネーブ国際芸術祭に参加
文学部教授 源川 進
平成十八年十一月二十一日(火)から二十七日(月)まで、スイス・ジュネーブで開催された「2006ジュネーブ国際芸術祭」に芸術団团长として本学文学部源川教授が参加された。

卒業パーティーの開催

父母会主催の卒業パーティーが本年度も開催されます。本年も昨年同様、会場は「帝国ホテル」です。盛大なパーティーとなることを期待しております。父母会が発足して十三年、卒業パーティーも十一回目を迎えました。文学部・国際政治経済学部の卒業生の皆さんには、法人役員・教職員を加えて楽しいひとときをお過ごしいただきたいと思います。卒業式が終了しましたら、卒業生の皆さんお誘いあわせの上、帝国ホテル「孔雀東の間」までお集まりください。

〔日時〕平成十九年三月二十五日(日)

午後二時～四時

〔会場〕帝国ホテル

「孔雀東の間」



昨年の卒業パーティー

大学の講義を

受講してみませんか

二松学舎大学には、科目等履修生制度があり、大学の授業を広く一般の皆様に公開しています。科目等履修生制度とは、大学で開講している授業科目(一、二科目)を学生と一緒に受講し単位も取得できる制度です。本学学生のご父母の皆様は、生涯教育の一環として一人でも多く大学の授業を受けて頂きたいとの趣旨から、登録料の免除、科目等履修料の減額措置を講じております。この機会に、是非お子さんと一緒に大学の授業を受けられることをお勧め致します。内容は、次の通りです。

公開科目

学部・大学院で開講している授業科目のうち、原則として演習科目を除く全ての授業科目を公開いたします。

募集要項

平成十九年度の募集要項は、二月下旬に出来上がります。三月になりましたらお問い合わせ下さい。

受講料

一科目 通年科目 三万円
(一般の方は六万円)
半期科目 一万五千元

問い合わせ先

二松学舎大学教学課・柏教学課

二松学舎格付け

「A-」を取得

学校法人二松学舎は、株式会社格付投資情報センター(R&I)から、十一月二十日付で発行体格付け「A-」(シグナルAマイナ)を取得しました。「A-」は、二十一段階ある格付けの上位から七番目にあたり、医業系を除く在籍学生数五〇〇〇名以下の学校法人では、初めてとなる高い格付け取得となります。今回、本学が格付けを取得した目的は二つあります。

一つは、教育改革や財務政策を盛り込んだ本学の中長期経営計画「21世紀二松学舎像の策定を目指すマスタープラン」を中心とした諸改革に対して第三者機関から客観的な評価を受け、これらの改革を今後より一層推進させるためです。

もう一つは、学生・生徒、教職員、保護者、卒業生、受験生、地域社会、企業等の本学のステークホルダーに対して、今回評価された本学の教育研究・経営の健全性を積極的に情報公開することによって、本学に対する信頼と本学のブランドをより高めしていくことにあります。

詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

編集後記

全国の会員の皆様、新年明けましてお目出度う御座居ます。昨年は天災は少なかつたけれども、いじめ問題・自殺・子殺し・親殺し等が子供達を襲いました。それに対して大人の見て見ぬ振りを始め、教育界の無為無策振りは、人災でありました。私達親は何をどうすればいいのか、「人災を防ぐより難事は無し」、握りしめるコブシが汗をかくばかりでした。大学生になった息子や娘達は人災からのがれて欲しい、そう願わずにはいられません。三千人の学生の六千人の父母の一万二千個の目玉が、よく見開かれていることを望みます。

さて、本年も清水父母会々々長、理事長・学長の皆様に年頭のご挨拶を頂きました。本学はいよいよ一三〇年目を迎え、益々の発展を願っています。

全国父母懇談会の内容について、例年より詳しく書いておきました。どうか雰囲気をお読みとり下さい。学生会の「創縁祭」に昨秋も参加、茶話室に多くの方が立ち寄り寄ってくれました。「水飲み」という若者も二、三居り、文字通り水だけ飲んで帰りましたが、校舎に水飲み場は有りや無しや。

さて恒例の卒業パーティーは「帝国ホテル」です。